

シスコの製造業向けコラボレーション

— ソリューションガイド —



目次



はじめに

製造業でコミュニケーションやコラボレーションのデジタル化が必要とされる理由

デジタル化が必要とされる 4 つの場面

自宅：テレワークを導入および拡大したい

自宅：テレワークを導入および拡大するための「課題」

オフィス：場所や組織をまたぐコミュニケーションやコラボレーションを実現したい

オフィス：場所や組織をまたぐコミュニケーションやコラボレーションを実現するための「課題」

工場：迅速かつ適切な情報共有によって生産性を向上させたい

工場：迅速かつ適切な情報共有によって生産性を向上させるための「課題」

他社：顧客やパートナーとのエンゲージメントを強化したい

他社：顧客やパートナーとのエンゲージメントを強化するための「課題」

ソリューション=シスコの製造業向けコラボレーション

クラウドだから導入が簡単

簡単に開始および参加できるビデオ会議

使いやすいインターフェイス

リモートでも快適かつ安全なコミュニケーションとコラボレーション

顧客やパートナーなど他社も無料で利用可能

セミナーや研修、イベントでも活躍

ビデオ会議の専用機で会議室をデジタル化

ビデオ会議の専用機はデスクやオープンスペースにも対応

クラウドで集中管理

導入事例

鹿島建設株式会社

製品紹介

製品ポートフォリオ

Cisco Webex Meetings

Cisco Webex Teams

Cisco Webex Calling

Cisco Webex Room シリーズ (セパレートモデル)

Cisco Webex Room シリーズ (一体型モデル)

Cisco Webex Board

Cisco Webex Desk シリーズ

Cisco IP Phone 6800/7800/8800 シリーズ

Cisco Headset 500/700 シリーズ

競合製品比較

ビデオ会議

チームコラボレーション (ビジネスチャット)

クラウド電話

ビデオ会議システム

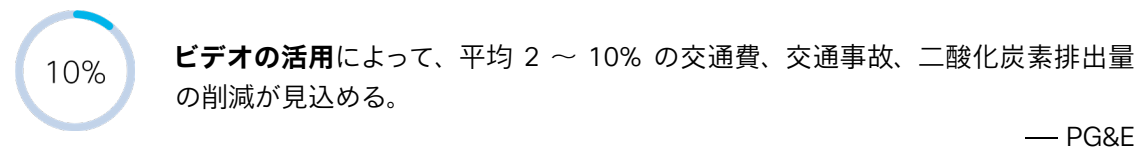
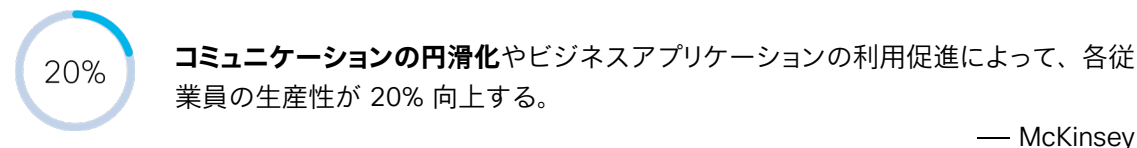
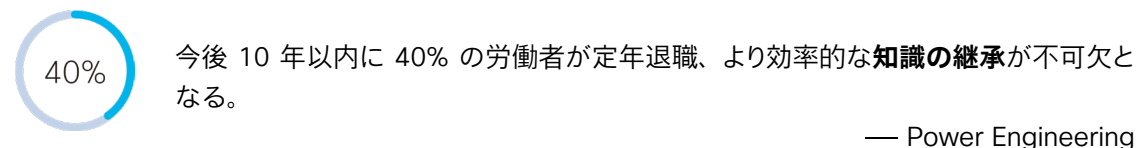
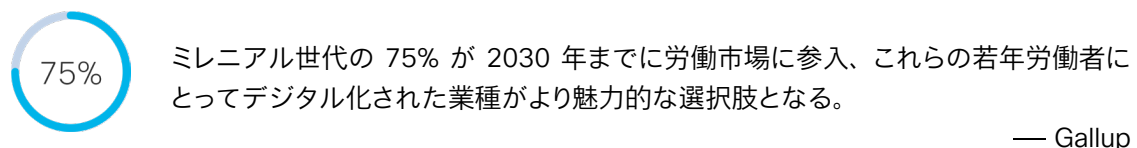
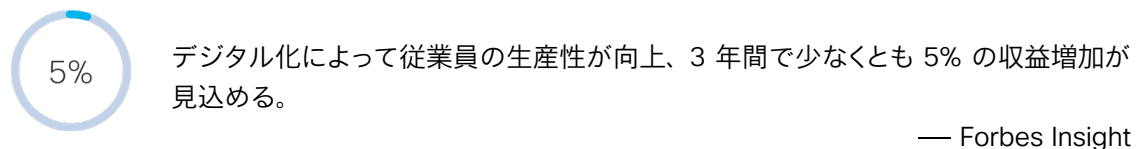
はじめに



現在、あらゆる業種でデジタル化が加速しています。

もちろん製造業も例外ではなく、製造業でデジタル化を検討すべき理由やデジタル化による効果など、さまざまなデータが次々に発表されています。

たとえば、



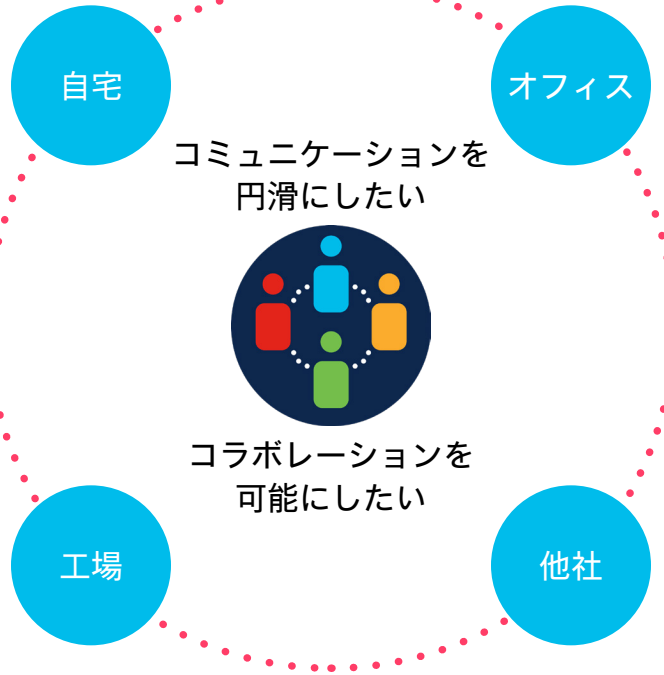
しかし、ひとくちに「デジタル化」と言っても、オフィスでのペーパーレス促進や電子印鑑の採用、工場でのIoTやAIの活用まで多岐にわたります。

本ガイドでは右段で強調した「知識の継承」「コミュニケーションの円滑化」「ビデオの活用」のように、**製造業におけるコミュニケーションやコラボレーションのデジタル化**を主題として取り扱います。

デジタル化が必要とされる 4 つの場面



製造業でコミュニケーションやコラボレーションのデジタル化が必要とされる理由はさまざまですが、「~とのコミュニケーションを円滑にしたい」「~でのコラボレーションを可能にしたい」と考えられる代表的な 4 つの場面に焦点を絞って、その理由と課題を紹介します。



自宅：テレワークを導入および拡大したい



「働き方改革」の一環として語られることが多かった「テレワーク」は、新型コロナウイルス（COVID-19）を契機に、感染症対策としても事業を継続するための施策としても、不可欠な要素として人口に膾炙しました。それゆえ製造業に限らず、幅広い業種でテレワークの重要性が理解されて、その導入と拡大が進んでいます。

しかしながら、「快適な」テレワーク、あるいは自宅でもオフィスと同じように仕事ができる環境を実現するためには、さまざまな課題が発生します。たとえば、

- PC：会社からのPCの持ち帰りを認めるか、私物の使用を認めるか、それとも新たに支給するかなど
- インターネット接続：社員の自宅にインターネット接続環境がない場合にはどうするか、従量制課金接続の場合の費用負担はどうするかなど
- セキュリティ：社員が自宅からでも安全にインターネットや社内ネットワークに接続できるようにするためにはどうするかなど

そして、これらの課題をクリアしても立ちはだかるのが、コミュニケーションやコラボレーションの壁です。自宅でもオフィスと同等のコミュニケーションやコラボレーションを実現するためには、[次のページに挙げた課題を解決する必要があります。](#)



自宅：テレワークを導入および拡大するための「課題」



ビデオ通話やビデオ会議ができる無料のアプリやサービスはたくさんあるが、**ビジネス用途に適した品質やサービスレベル**かどうか、さらに**セキュリティにも不安**がある。

オフィスの代表電話着信を在宅勤務者に**取り次ぐのが面倒**。内線電話や直通電話の転送も**都度設定が面倒**。

同僚にちょっと話しかけて質問する、書類に目を通してもらうなど、**気軽なコミュニケーション**が自宅からでは成立しない。

ビデオ会議では、オフィス会議室のホワイトボードが見にくいなど**制約が多い**。

オフィスでは同僚が離席中、電話中など状況が一目でわかるが、自宅からではそのような**状況がわからない**。

在宅勤務者がコミュニケーションやコラボレーションに使用するアプリやサービスを**適切に管理できるかどうか不安**。数が増えると間違いなく面倒。

オフィス：場所や組織をまたぐコミュニケーションやコラボレーションを実現したい



「すべての参加者がその場にいる」という意味で、コミュニケーションやコラボレーションの「中心」として機能してきたオフィス、とくに会議室は、その役割を大きく変えつつあります。テレワークを導入および拡大すれば、在宅勤務者が「リモートから会議に参加する」ことが当たり前になります。さらにリモート参加者は在宅勤務者に限らず、国内外を問わず地理的に離れた営業所や工場などの拠点、顧客やパートナーなど、場所や組織をまたいで拡大するでしょう。つまり、これからのオフィスや会議室は、さまざまな参加者を「つなぐ」中心、あるいは歯車の1つとして機能します。このような役割の変化が期待される背景には、テレワークなど新たなワークスタイルへの対応だけでなく、次のように明確なビジネス上のメリットを生み出すという理由もあります。

- 移動にかかる時間を短縮する
- 移動にかかるコストを削減する
- 意思決定を迅速化する

こうして、既存のオフィスや会議室を、場所や組織をまたいでコミュニケーションやコラボレーションができる空間へと生まれ変わらせる必要性がわかりました。現在では、オフィスや会議室用のWeb会議製品やビデオ会議製品が数多く存在しますが、[次のページ](#)に挙げた課題やニーズを考慮して選択する必要があります。



オフィス：場所や組織をまたぐコミュニケーションやコラボレーションを実現するための「課題」



音声やビデオの**品質が不安**。遅延やジッタ(乱れ)があると会議に集中できない。いつでも使える**安心感(サービスレベル)**も必要。

1台のディスプレイでPCの画面を共有しながら、もう1台のディスプレイにリモート参加者を表示するなど、臨場感を損なわずに**フレキシブルな会議**をしたい。

既存のディスプレイを活用するなど、**安価に導入**したい。簡単に導入できて、**誰でも簡単に使える**ことが重要。

すべての参加者がその場にいるときと同じように**ホワイトボードを活用**したい。リモート参加者に気を遣ってホワイトボードが使えないのは不便。

紙の資料を配るのと同じように、リモート参加者とも手軽に**資料を共有**したい。録画など、**会議の記録**もあとから共有できると、便利。

会議室が足りない。オフィスのデスクやオープンスペースで、**ちょっとした打ち合わせ**ができると便利。利用状況も把握したい。



工場：迅速かつ適切な情報共有によって生産性を向上させたい



工場など製造現場におけるデジタル化は、生産ラインのスマート化から始まりました。生産設備や制御機器、そして各種センサーをネットワークに接続し、データを収集および分析することで、生産を最適化、さらに自動化しようとするものです。

現在、デジタル化による最適化は、工場の一部から全体へ、そしてサプライチェーン全体に広がっています。新型コロナウイルス（COVID-19）の影響によって、サプライチェーンの全体最適化は、もはや喫緊の課題とも言えます。

このように製造現場、あるいは工場を越えて拡大するデジタル化は、モノの接続（IoT）によるデータの活用から、モノを扱うヒトの接続によるコミュニケーションやコラボレーションの活用にも及んでいます。製造現場や工場の内外で迅速かつ適切な情報共有を促進すると、生産性を向上させる次のようなメリットがあるからです。

- リアルタイムで、映像に基づく適切な作業の指示や確認が可能
- リアルタイムで、地理的に離れた従業員、顧客、パートナー、専門家と意思疎通や情報共有が可能

具体的な活用シーンとしては、たとえば、

- 設計部門から現場作業者のスマートグラスやタブレットなどモバイルデバイスに図面を送信し、現場作業者が図面を見ながら、進捗に合わせた映像や音声の指示に従って作業する
- 設備や機器のメンテナンスや不具合時、遠方の熟練作業者や専門家に、実際の様子を映像やデータで確認してもらいながら対策を練ってもらう

など、さまざまな事例があります。では、実際に製造現場や工場でのコミュニケーションやコラボレーションのデジタル化を進める場合、どのような課題があるのでしょうか。[次のページ](#)に挙げた例で確認しましょう。



工場：迅速かつ適切な情報共有によって生産性を向上させるための「課題」



ビデオ通話やビデオ会議、ビジネスチャットなど何であれ、情報共有手段（サービス）の**セキュリティが何よりも重要**。情報漏洩の可能性を徹底的に排除したい。

全作業者にモバイルデバイスを配布できるとは限らず、現場で作業者が共有して使える**専用機が必要**。

生産設備ネットワークと同様に、情報共有手段（サービス）には**高度なリアルタイム性と信頼性**を要求したい。

モバイルデバイスから PC、ビデオ会議の専用機まで、特別な訓練なしで簡単に、**どれも同じように使えるサービスや製品**が望ましい。

モバイルデバイスに最適化された情報共有手段（サービス）が望ましい。

製造現場でも、**オフィスや会議室と同じように**会議や打ち合わせをしたい。

他社：顧客やパートナーとのエンゲージメントを強化したい



これまでに取り上げた自宅、オフィス、工場のいずれの場面でも、デジタル化されたコミュニケーションやコラボレーションの相手は自社に限らず、顧客やパートナーなど他社にも拡張可能です。移動にかかる時間の短縮やコストの削減、意思決定の迅速化のようなメリットは、相手が他社でも同じように生まれます。しかしながら、たとえば「足を使う営業」という言葉があるように、営業活動やセミナー、研修、イベントなど、一部の企業活動では、対面でのコミュニケーションやコラボレーションが根強く支持されてきました。そこにはデジタル化によるメリットを上回る、エンゲージメントの強化が存在すると信じられてきたからです。この状況は変わりつつあります。新型コロナウイルス（COVID-19）の影響によって移動や対面の制限が長期化すると予想される中、対面でのコミュニケーションやコラボレーションに頼らずに、顧客やパートナーとのエンゲージメントを強化できる手段を模索する必要があります。このような視点であらためて、[次のページ](#)に挙げた課題やニーズを確認しましょう。



他社：顧客やパートナーとのエンゲージメントを強化するための「課題」



顧客やパートナーが**簡単に使える**サービスや製品が望ましい。

顧客やパートナーが安心できる**セキュリティ**が必要。

顧客やパートナーも使用することで**追加のコストが発生**するのは困る。

ビデオ会議を**セミナーや研修、イベント**にも使いたい。

顧客やパートナーが満足できる**サービス品質**や**サービスレベル**が必要。

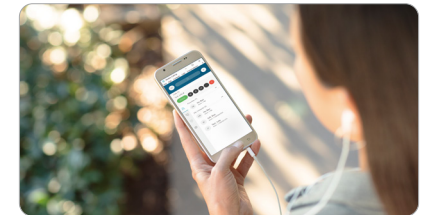
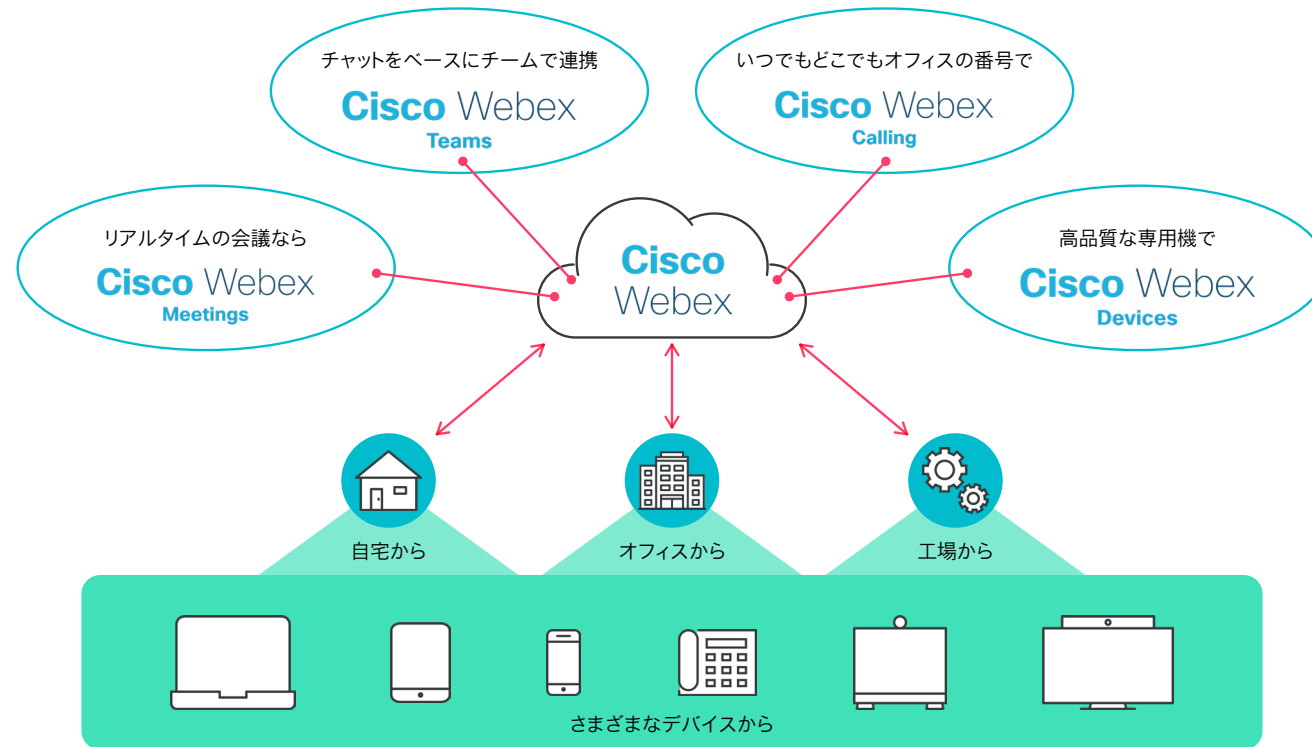
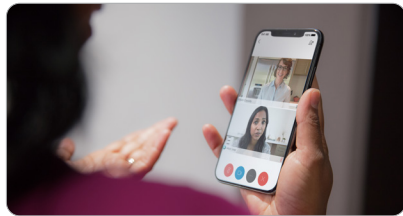
顧客やパートナーが使用しているビデオ会議の専用機と、**互換性のあるサービスや製品**が望ましい。



クラウドだから導入が簡単



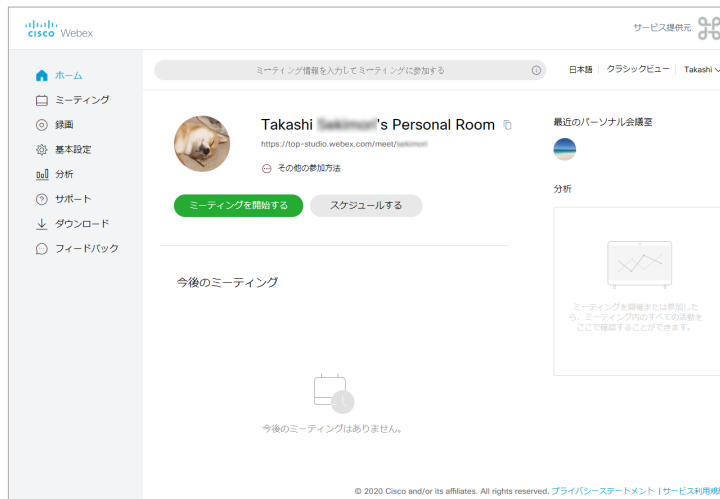
これまでに紹介した課題をすべて解決できるのが、シスコの製造業向けコラボレーションソリューションです。
既存のネットワークへの影響を最小限に抑えながら、しかも簡単に導入できる、クラウドサービスを中心にしたソリューションです。



簡単に開始および参加できるビデオ会議



さまざまなデバイスでビデオ会議を利用可能。
PC やスマートフォン、タブレット、シスコのビデオ会議システムから、簡単に開始および参加できます。
他社のビデオ会議システムおよびアプリケーションからでも参加可能です。



PC (ブラウザ)



PC (デスクトップアプリ)



スマートフォン / タブレット
(モバイルアプリ)



シスコのビデオ会議システム (タッチコントローラ)

使いやすいインターフェイス



ビデオ会議への参加や会議中の操作には、パソコンではブラウザ上のウェブアプリやブラウザ拡張機能、デスクトップアプリを、スマートフォンやタブレットではモバイルアプリを、シスコのビデオ会議システムではリモコンやタッチコントローラ、タッチパネルを使用します。会議中は、ほぼ共通のコントロールバーで操作できるため、どれも同じように簡単かつ直感的に利用できます。



PC (デスクトップアプリ)



スマートフォン / タブレット
(モバイルアプリ)



シスコのビデオ会議システム (タッチコントローラ)

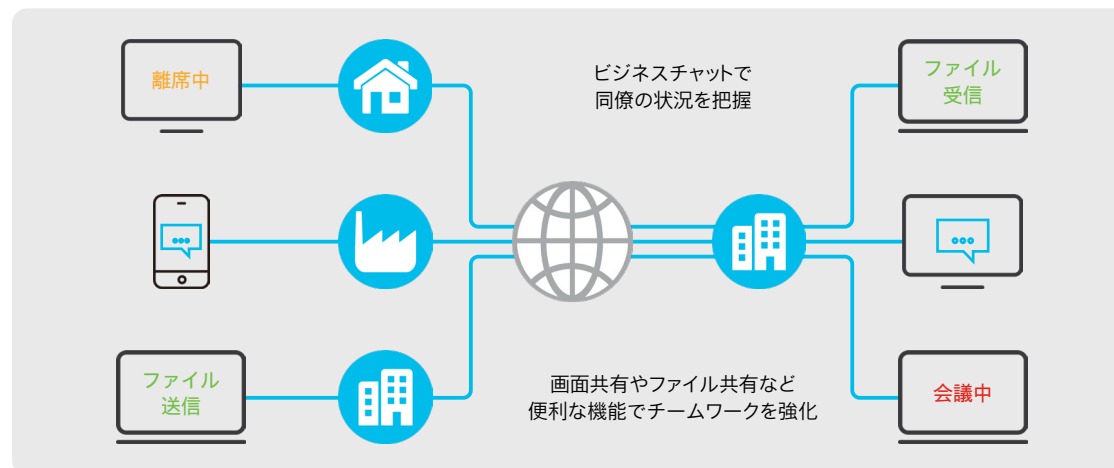
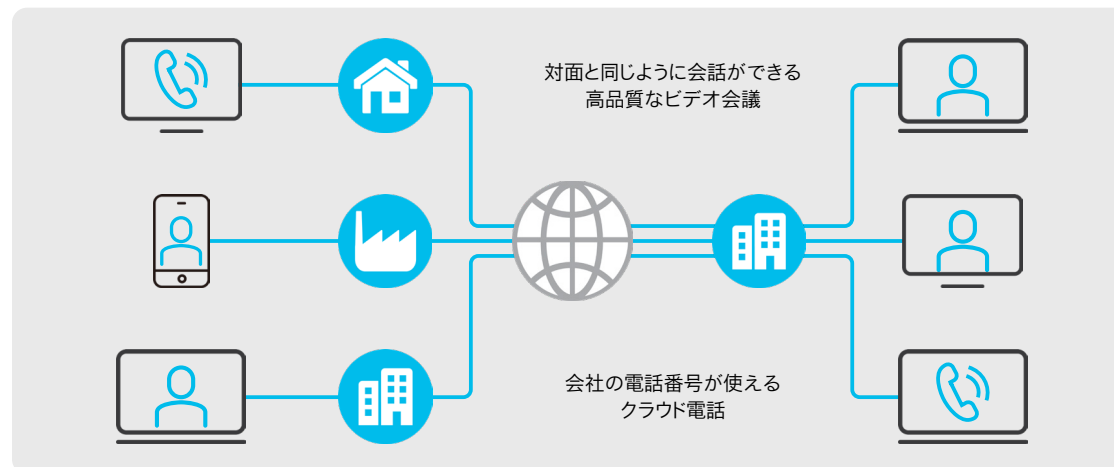
リモートでも快適かつ安全なコミュニケーションとコラボレーション



シスコの製造業向けコラボレーション ソリューションは、いつでも、どこでも、どんなデバイスからでも快適なコミュニケーションとコラボレーションを実現する、便利なサービスを提供します。

- 1対1の打ち合わせから最大1,000人の会議まで、対面と同じように会話ができる高品質なビデオ通話/ビデオ会議。画面（デスクトップ）やアプリケーションの共有、自由に書き込めるホワイトボードなど、対面よりも打ち合わせや会議がはかどる機能が満載。
- PC、スマートフォン、タブレット、IPフォンをインターネットにつなぐだけで利用できるクラウド電話。どこでも会社の電話番号で発信/着信が可能。
- メールよりも気軽にコミュニケーションができるビジネスチャット。画面共有やファイル共有、同僚の状況がひと目でわかるステータス表示など、チームワークを強化するコラボレーション機能も満載。

特筆すべきは、これらのサービスが「快適」「便利」であるだけでなく、「安全」であるということです。コンシューマ向けのサービスや一部のビジネス向けサービスとは異なり、シスコのサービスは文字どおりの「エンドツーエンド」で暗号化に対応しています（右の図で青色の線で表現した通信経路は、すべて暗号化された通信です）。ビデオ通話、ビデオ会議、クラウド電話、チャット、ファイル共有など、すべての通信が暗号化されるため、盗聴など情報漏洩を心配せずに安心して利用できます。

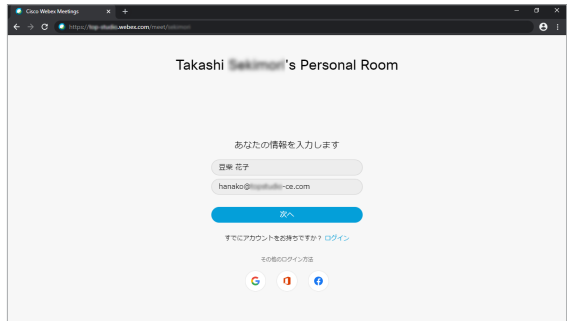


顧客やパートナーなど他社も無料で利用可能

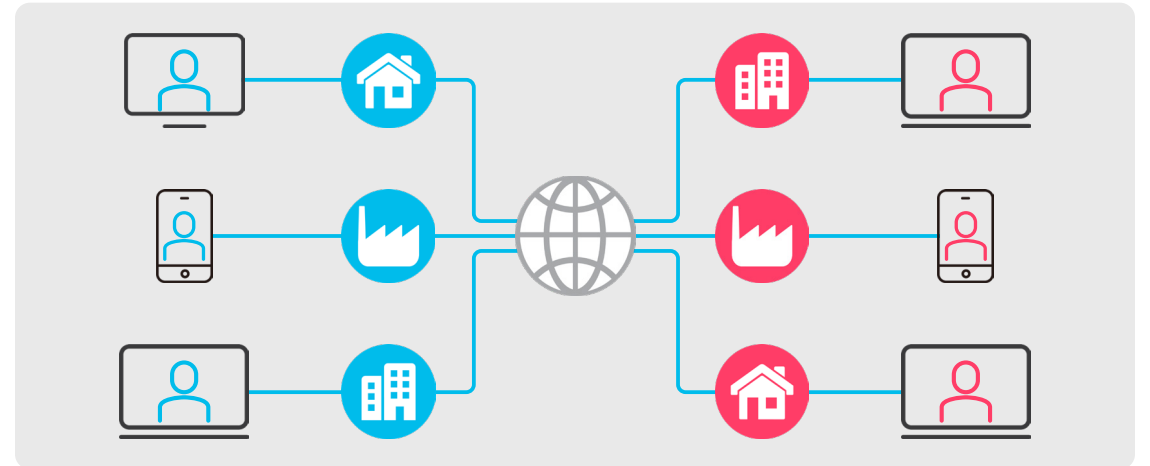


シスコの製造業向けコラボレーション ソリューションは、自社に限らず、顧客やパートナーなど他社とのコミュニケーションやコラボレーションにも活用できます。

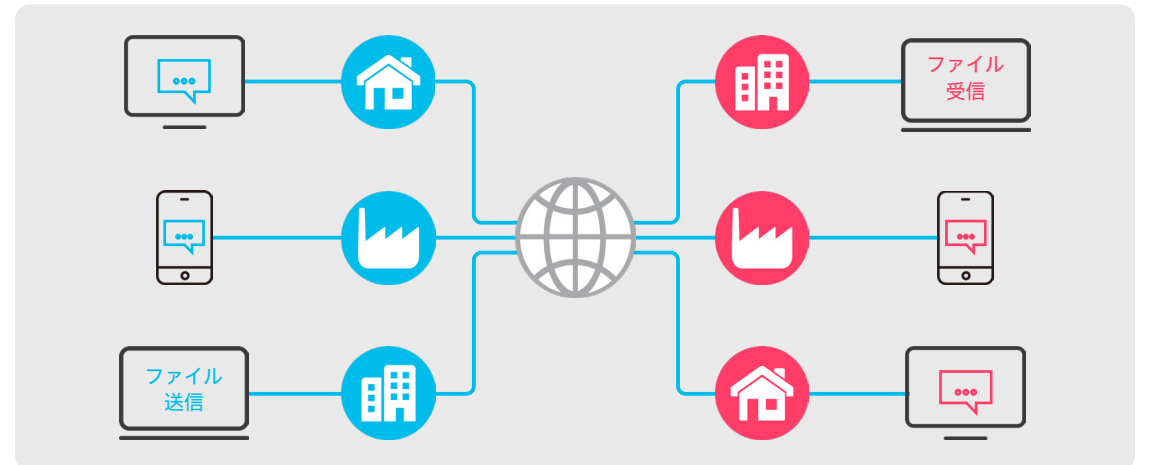
顧客やパートナーとビデオ会議をしたい場合は、会議の URL を教えるだけで OK です。顧客やパートナーの会議参加はもちろん無料、PC では URL をクリック、スマートフォンやタブレットでは URL をクリックしてアプリをダウンロードおよびインストールすれば、あとは名前とメールアドレスを入力するだけで簡単に会議に参加できます。



ビジネスチャットも PC およびモバイル版アプリを無料で利用可能です。ビジネスチャットのグループに他社ユーザがいる場合はひと目でわかるなど、企業間の利用に配慮した設計になっています。



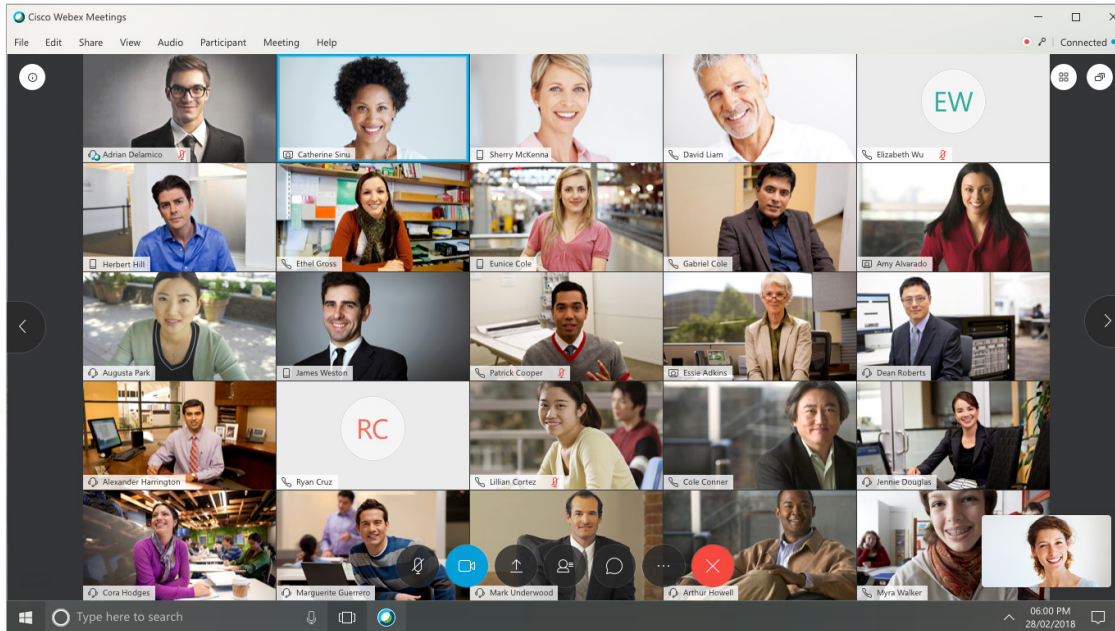
自社 / 他社を問わず、コミュニケーションとコラボレーションが可能
他社でシスコのサービスを利用（購入 / 契約）していなくても OK!



セミナーや研修、イベントでも活躍

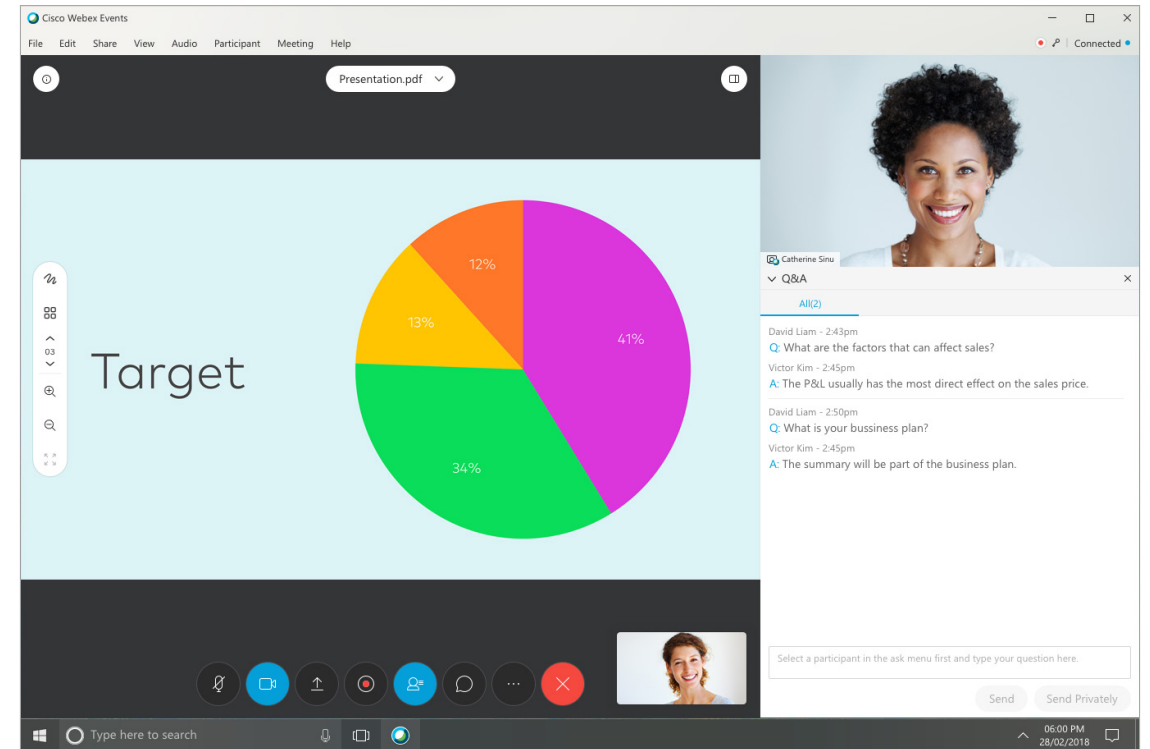


シスコのビデオ会議は、最大で 1,000 名が参加できる大規模な会議もサポート。ビデオ会議のキャパシティも大きく、最大で 25 名の参加者を一人ひとり同時に表示できる、グリッドレイアウトも可能です。



25 名の参加者を同時に表示

さらに Q&A やアンケートなどのオプション機能も備えた、セミナーや研修、イベント向けの専用サービスも提供しています。新型コロナウイルス（COVID-19）の影響を受けて、株主総会や記者会見などにも活用されるようになりました。



Q&A やアンケートなど、セミナーや研修、イベント向けの機能も提供

ビデオ会議の専用機はデスクやオープンスペースにも対応



シスコのビデオ会議システムは、会議室だけでなく、オフィスや自宅のデスク、役員室やオープンスペースの一角などにも設置可能です。

オフィスや自宅のデスクにビデオ会議の専用機があることで、PC やモバイルデバイスよりも高品質なビデオ会議ができることはもちろんですが、ユーザが入室すると手持ちのデバイスと自動的に同期してワンタッチで会議に参加できるなど、ビデオ会議での打ち合わせや会議が多い管理職や役員の負担を減らせるというメリットもあります。

また、オープンスペースの一角など「ハドルスペース」での「ちょっとした打ち合わせ」需要が高まっています。Dimensional Research 社とシスコが全世界のユーザ 1,000 人以上を対象にした共同調査では、93% が「オープンスペースに追加のハドルスペースが必要」と回答し、さらに 65% が「ハドルスペースの半分以上でビデオ会議ができることが必要」と回答しました。



デスクトップモデル



セパレートモデル

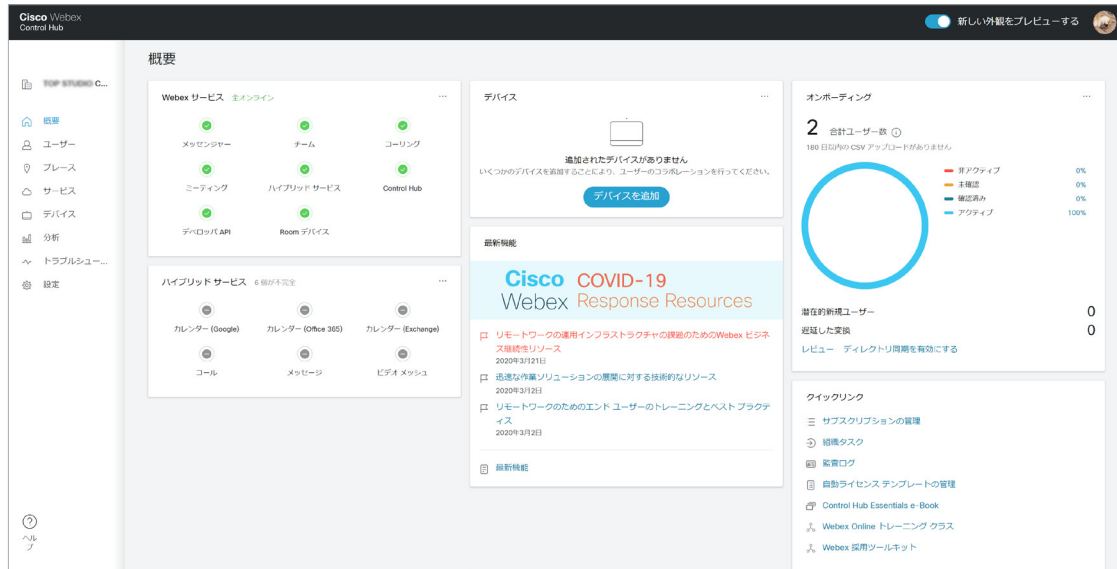


デジタルホワイトボード

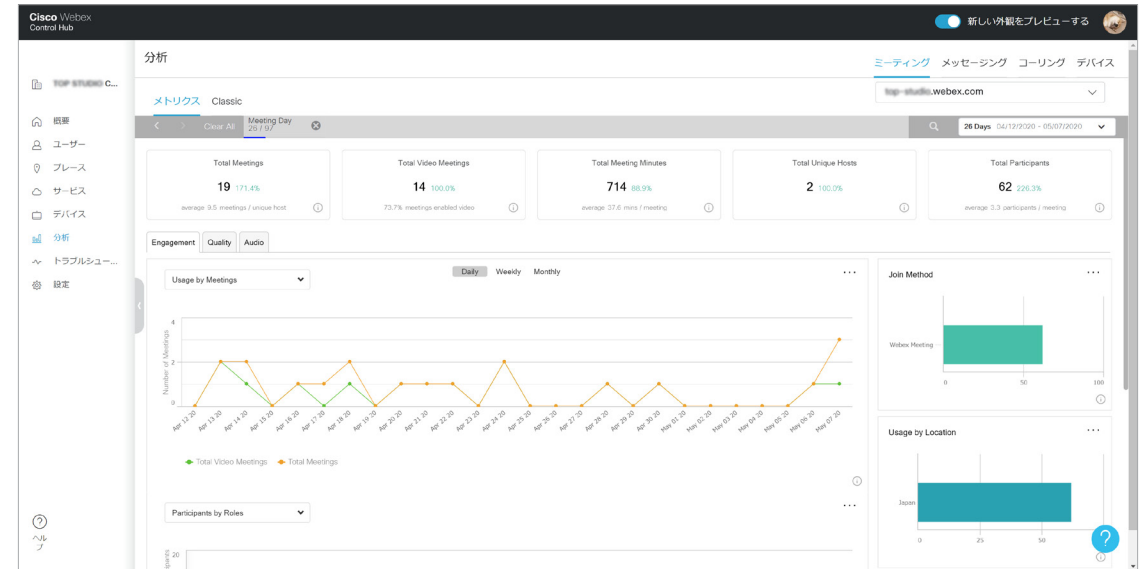
クラウドで集中管理



シスコの製造業向けコラボレーション ソリューションでは、ユーザやデバイスの追加、設定管理などが、すべてクラウドのダッシュボードで可能です。ライセンスの管理や他社サービスとの連携、トラブルシューティング、さらに利用状況の分析までもサポートします。



クラウドダッシュボード：概要ページ



クラウドダッシュボード：分析ページ

鹿島建設株式会社



現場での作業が多く、報告書や図面など、紙ベースのコミュニケーションが根強く残る土木 / 建築業—その中で、コミュニケーションの IT 化を積極的に推進している企業の 1 つが鹿島建設です。鹿島建設、大林組、鉄建建設の 3 社による共同企業体で進めた巨大プロジェクト、東京外環自動車道市川中工事で、鹿島建設が採用したのがシスコのビジネスチャット「Cisco Webex Teams」とデジタルホワイトボード「Cisco Webex Board」でした。

「スマートフォンやタブレットといったモバイルデバイスの導入は、私たちの業務を大きく変えました。現場に分厚い図面や資料を持ち運ぶ必要もなく、写真も撮影できます。最も劇的な変化を生んだのは、そうしたモバイルデバイスの活用をさらに促進する Cisco Webex Teams の導入だったと思います」

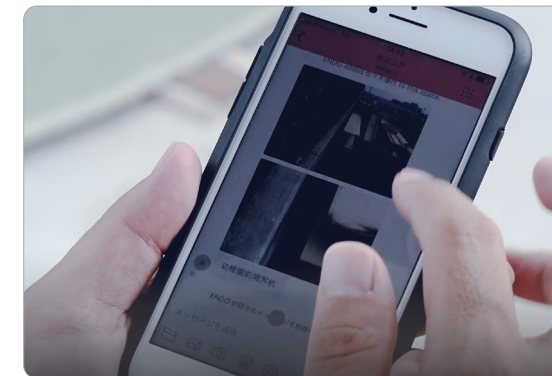
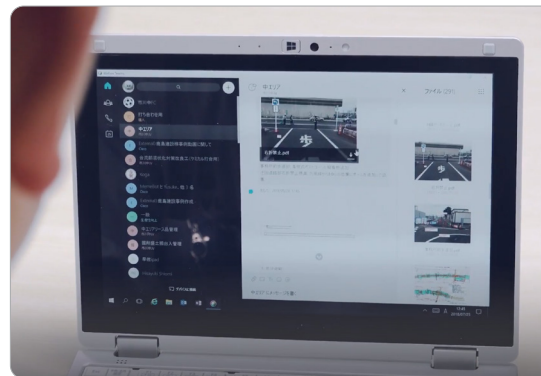
鹿島・大林・鉄建特定建設工事共同企業体
外環市川中 JV 工事事務所 古賀 進一 氏

「Cisco Webex Board は、画面が見やすく、細かな図面や写真も簡単に拡大 / 縮小して細部を説明できるため、紙の資料よりも説得力があります。紙の資料と比べて、参加者を画面に集中させることができるというのもメリットで、会議を進めやすくなりました」

鹿島・大林・鉄建特定建設工事共同企業体
外環市川中 JV 工事事務所 工事課長 遠藤 祐太 氏

鹿島建設での導入事例の詳細は、次の Web サイトをご覧ください。

www.cisco.com/c/ja_jp/about/case-studies-customer-success-stories/1500-kajima.html



Webex Teams で事務所 (左) から現場 (右) に画像付きで作業指示
現場では画像を見ながら正確に作業ができる



Webex Board の高精細画面で図面を適宜拡大しながらの会議
各参加者は自身のデバイスからワイヤレスで図面や資料を表示可能
もちろん、デジタルホワイトボードとしてペンの書き込みも可能



シスコの製造業向けコラボレーション製品は、「Cisco Webex」クラウドによる**単一のプラットフォーム**で、次のサービスを提供します。

- ビデオ会議「Cisco Webex Meetings」
- チームコラボレーション「Cisco Webex Teams」
- クラウド電話「Cisco Webex Calling」



各サービスは**エンドツーエンドの暗号化**に対応、**AI など最先端のテクノロジー**も活用しています。

それぞれのサービスを強化するハードウェア製品「Cisco Webex Devices」も豊富にラインアップ。

サービス、ユーザ、デバイスはすべて、クラウドダッシュボード「Cisco Webex Control Hub」で集中管理できます。

ビデオ会議
Cisco Webex
Meetings

チームコラボレーション
Cisco Webex
Teams

クラウド電話
Cisco Webex
Calling



Cisco Headset
500/700 シリーズ



Cisco Webex Desk シリーズ



Cisco Webex Room シリーズ
(セパレートモデル)



Cisco Webex Room シリーズ
(一体型モデル)



Cisco Webex Board



Cisco IP Phone
6800/7800/8800 シリーズ

Cisco Webex Meetings



Cisco Webex Meetings は、世界で最も利用されている、業界最先端のビデオ会議サービスです。いつでも、どこでも、誰とでも、最適なデバイスから、ストレスなく会議ができるようになるため、チームワークによる生産性の向上、会議スケジュールの効率化、移動コストの削減など、さまざまなメリットを提供します。



PC、スマートフォン、タブレット、シスコおよび他社のビデオ会議システムなど、さまざまなデバイスに対応
固定電話や携帯電話からの会議参加もサポート



世界で最も利用されているビデオ会議サービス

(出典: Synergy Research, March 2020)



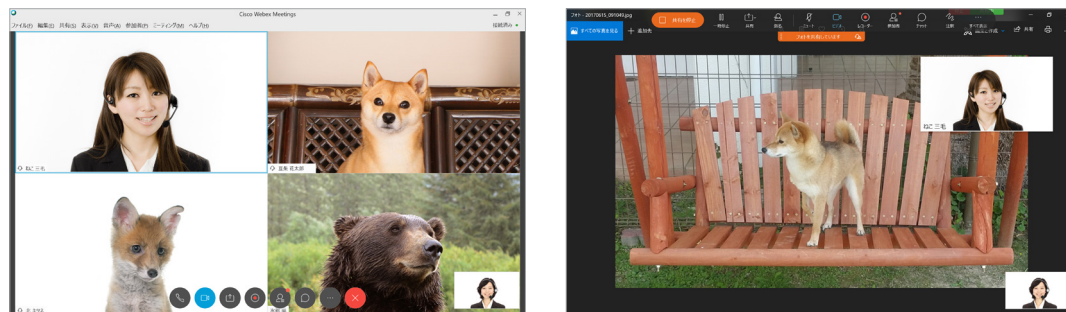
2,790 万件の
モバイルダウンロード
(出典: シスコ)



1 億 3,000 万人の
アクティブユーザ
(出典: シスコ)



150 万台の
会議用デバイスが接続
(出典: シスコ)

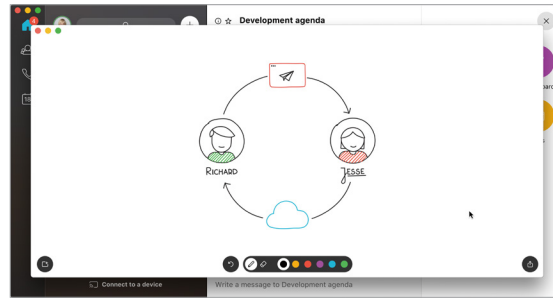
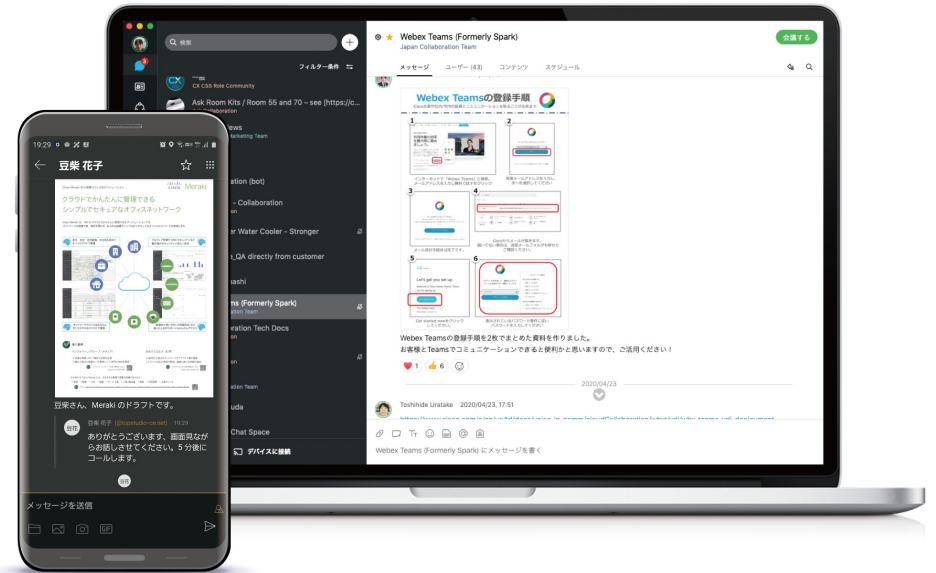


柔軟なビデオレイアウト、画面（デスクトップ）やアプリケーションの共有、
自由に書き込めるホワイトボード、スケジュール連携など、対面よりも会議がはかどる機能が満載

Cisco Webex Teams



Cisco Webex Teams は、スピーディかつスムーズなチームワークをサポートするアプリケーションです。グループチャットやファイル共有、ビデオ会議、ホワイトボードなど、多彩な機能を 1 つのアプリケーションで提供します。Windows、macOS、Android、iOS など、さまざまな OS やデバイスで使用できるため、いつでも、どこでも、効率的なチームワークが可能、これからのデフォルト コミュニケーションツールとして活用できます。



チャット

プロジェクトごと、チームごとなど、目的別に「スペース」を作成してチャットができます。さまざまな用途に活用できる情報共有スペースです。



ファイル共有

ドラッグ & ドロップするだけで、ファイルを共有できます。サイズの大きなファイルでも OK、暗号化されるため安全です。



ビデオ会議

チャットでの会話から 1 クリック、1 タップで、スムーズにビデオ会議を開始できます。画面を共有しながらの会議や録画も可能、1 つの会議あたり 200 名まで参加できます。



ホワイトボード

PC やスマートフォンなどのタッチ機能や Cisco Webex Board との連携によって、実際の会議室と同じようにホワイトボードを使用できます。



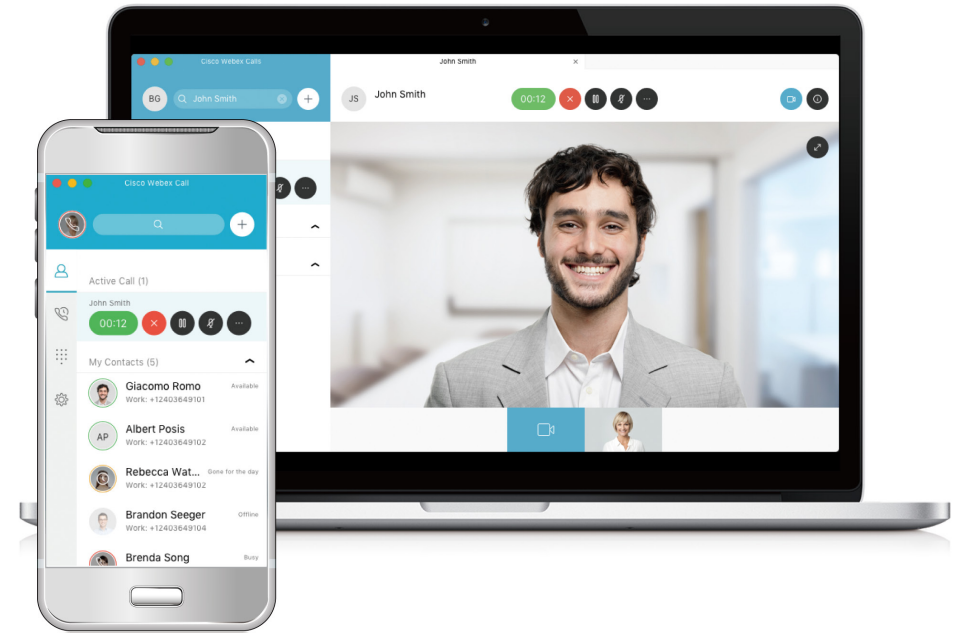
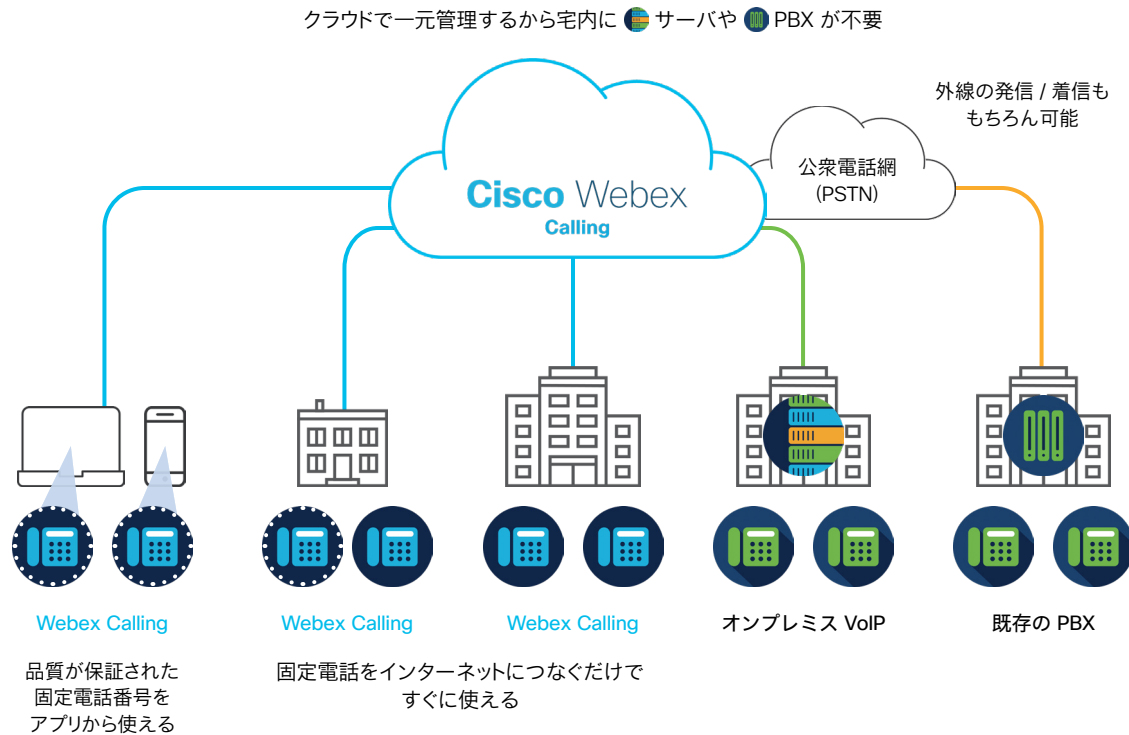
スケジュール

会議の予定をスケジュール可能、アラーム通知から簡単に参加できます。Microsoft Outlook のカレンダーや Google Calendar とも連携可能です。

Cisco Webex Calling



Cisco Webex Calling は、小規模から大規模まで幅広いユーザ数に対応できる、エンタープライズグレードのクラウド電話サービスです。従来型のオフィス電話によるメリットをすべて提供しつつ、PBX やオンプレミスサーバなど、オフィス電話インフラの維持コストや運用管理の労力を大幅に低減します。



クラウドでかんたん導入、コスト削減

- 固定電話を気にせずフリーアドレスへ
- 拠点ごとの PBX 管理が不要
- 1 回線からのスモールスタートも可能

柔軟な働き方をサポート

- PC、スマートフォン、タブレット対応
- 自宅でも会社の番号で対応可能
- BCP 対策に最適

Cisco Webex Room シリーズ (セパレートモデル)



Cisco Webex Room シリーズのセパレートモデルは、既存のディスプレイと組み合わせて使用するビデオ会議システムです。4K ディスプレイのシングルまたはデュアル接続、4K または 5K カメラ、自然かつ明瞭な高音質サウンドシステム、話者の自動認識および自動ズーム機能、ワイヤレスプレゼンテーション、デジタルサイネージ、さらに AI による会議アシスタントなど、専用機ならではの数々の機能で会議室をデジタル化します。

4K または 5K カメラ
(Webex Room Kit Mini, Webex Room Kit はコーデックと一体型)
(Webex Room USB は PC の外部カメラ / スピーカーフォンとして使用、アップグレードでコーデックを使用可能)



コーデック
(Webex Room Kit Plus)

タッチコントローラ
またはリモコン (Webex Room USB)

Webex Room USB Webex Room Kit Mini

2 ~ 5 人の会議室
またはハドルスペース向け



Webex Room Kit

7 人までの会議室向け

Webex Room Kit Plus

14 人までの会議室向け



Cisco Webex Room シリーズ (一体型モデル)



Cisco Webex Room シリーズの一体型モデルは、大画面 4K ディスプレー一体型のビデオ会議システムです。シングルまたはデュアルディスプレイ、5K カメラ、自然かつ明瞭な高音質サウンドシステム、話者の自動認識および自動ズーム機能、ワイヤレスプレゼンテーション、デジタルサイネージ、さらに AI による会議アシスタントなど、専用機ならではの数々の機能で会議室をデジタル化します。

Webex Room 55S

7 人までの会議室向け



Webex Room 70S G2

14 人までの会議室向け



Webex Room 55D

12 人までの会議室向け



Webex Room 70D G2

14 人までの会議室向け

Cisco Webex Board



Cisco Webex Board は、ワイヤレスプレゼンテーションやビデオ会議など、スマートで生産性が高い会議に必要な機能を 1 台で提供するデジタルホワイトボードです。従来のビデオ会議システムによる会議では、会議室のホワイトボードに書かれた内容をリモート側の参加者が確認することは困難または面倒で、さらにオフィス側の参加者が書き込むことしかできませんでした。Cisco Webex Board なら、リモート側の参加者もスマートフォンやタブレット、PC などを利用して、リアルタイムでホワイトボードを確認し、さらに書き込むこともできます。55 インチモデルはハドルスペースにも設置可能なサイズで、打ち合わせに使用されていないアイドル時にはデジタルサイネージとしても機能します。



設置場所に最適なサイズを選択可能
(55 インチモデル、70 インチモデル、85 インチモデル)



通常の打ち合わせで
ホワイトボードとして使用



ビデオ会議



ビデオ会議で
ホワイトボードとして使用



アイドル時のサイネージモード

Cisco Webex Desk シリーズ



Cisco Webex Desk シリーズは、オフィスや自宅のデスク、役員室、オープンスペースの一角などハドルスペースにも最適な、デスクトップ向けビデオ会議システムです。

- Cisco Webex Meetings にワンタッチで参加可能、Cisco Webex Desk Pro は、他社のビデオ会議サービスにも活用できる USB カメラ / マイク / スピーカーとしても機能
- 高解像度タッチディスプレイを PC のメインディスプレイまたはセカンドディスプレイとして使用可能
- Cisco Webex Desk Pro は、27 インチ 4K ディスプレイ、視野角 71° の 4K カメラ、3.1 ch サウンドシステム、2 + 6（上部と側面）の高品質マイクアレイを搭載
- Cisco Webex Desk Pro は、会議用の音声アシスタント（Cisco Webex Assistant）や顔認識、会議中の背景画像の差し替えやぼかしなど、AI を活用した機能搭載



PC のメインディスプレイまたはセカンドディスプレイとして使用可能



専用のスタイラス（タッチペン）でなめらかに書き込めるホワイトボード



Webex DX80



Webex Desk Pro



ハドルスペースでの利用にも最適



工場現場などで設置の自由度を高める VESA アダプタと壁掛けに対応

Cisco IP Phone 6800/7800/8800 シリーズ



Cisco IP Phone 6800/7800/8800 シリーズは、本社、支社、工場、在宅勤務など、場所を問わず、デスクや受付、製造現場など、さまざまなユースケースに対応できる IP フォンです。

- Cisco IP Phone 6800/7800 シリーズ

セキュリティをしっかり確保しながら自然かつ明瞭な音声コミュニケーションを実現するベーシックなデスク用 IP フォン、および会議室やハドルスペース向けスピーカーフォン



- Cisco IP Phone 8800 シリーズ

フルカラーディスプレイ搭載モデルやビデオ通話用カメラ搭載モデル、Wi-Fi 対応モデルなど、プレミアムなデスク用 IP フォン、および会議室やハドルスペース向けスピーカーフォン



スピーカーフォンなど
各種電話機能をサポート



一部のモデルは
ビデオ通話用カメラ搭載



Cisco Headset 500/700 シリーズとは
アプリなどで連携可能



工場現場などで設置の自由度を高める
壁掛けに対応

Cisco Headset 500/700 シリーズ



Cisco Headset 500/700 シリーズは、一般的なオフィスや在宅勤務のように、雑音が多い環境向けに設計されたヘッドセットです。トラベルケースが付属する Cisco Headset 700 シリーズは、外出先での利用にも適しています。

Cisco Webex Meetings や Cisco Webex Teams、Cisco Webex Calling など、PC やスマートフォン、IP フォンでユーザ個人が利用する、さまざまな音声コミュニケーションに活用可能。驚くほど鮮明な音声環境を実現することで、ユーザの集中力を持続させて、生産性を向上させます。

- 自然かつ明瞭な高品質サウンド体験を提供
- ユーザの声に焦点を合わせつつ周囲の雑音を低減する、単一指向性マイク（Cisco Headset 700 シリーズはアクティブ ノイズキャンセレーションに対応）
- 通話中インジケータや、音量調整など各種操作が可能な USB ヘッドセットアダプタ（一部のモデル）
- 長時間使用しても負担が少ない、軽量かつ快適な装着感
- Cisco IP Phone でのセットアップガイダンスなど、シスコ製品に設計を最適化
- Cisco Headsets モバイルアプリによる設定とカスタマイズをサポート（Cisco Headset 700 シリーズ）



Cisco Headset 500 シリーズ



Cisco Headset 700 シリーズ (Bluetooth 対応)



PC と USB-C 接続してビデオ会議に利用



スマートフォンと Bluetooth 接続してクラウド電話に利用



PC と Bluetooth 接続してビデオ会議に利用



タブレットと Bluetooth 接続してビデオ会議に利用



Cisco Webex Meetings vs Zoom

	Webex Meetings	Zoom
特徴	クラウドベースのビデオ会議サービス (オンプレミスベースでも導入 / 運用可能)	クラウドベースのビデオ会議サービス
契約プラン (ライセンス体系)	ビデオ会議の主催者となる「特定の」ユーザ数に基づくプランに加えて 月に 1 回以上主催者となるユーザ数に基づくプランなど複数のプランから選択可能 (契約途中でのプラン変更もサポート)	ビデオ会議の主催者となる「特定の」ユーザ数に基づくプラン
価格	大規模な組織で全ユーザが契約する場合は 初年度はメールアドレスをもつ全従業員数の 15% で契約可能 (次年度以降も利用状況に応じて契約更新)	1 ユーザあたりの価格は低コストだが フレキシブルな価格設定がないため 大規模な組織で全ユーザが契約する場合は高コスト
サポート	ベンダーによる国内サポート	ベンダーによる国内サポートはなし
ビデオ会議システム	自社のビデオ会議サービスに最適化された、自社製ビデオ会議システム	「Zoom Rooms」と連携する他社製ビデオ会議システム
他社製ビデオ会議システムから H.323/SIP 接続で参加	ライセンスなしで 1 会議あたり 200 台まで接続可能	1 会議あたりで接続可能な台数 (ポート) 分の「会議室コネクタ」の購入が必要 1 ポートあたり月額 6,600 円 (2020 年 5 月時点)
自社製ビデオ会議システムから 他社製ビデオ会議システムへ接続	●	×

チームコラボレーション (ビジネスチャット)



Cisco Webex Teams vs Microsoft Teams vs Slack

	Webex Teams	Microsoft Teams	Slack
特徴	デフォルトで「自社ユーザ」「他社ユーザ」を問わず組織の垣根を越えたコラボレーションが可能 さらに自社製ビデオ会議システムも提供 / 連携可能	「自社ユーザ」とのコラボレーションがデフォルト 「他社ユーザ」とのコラボレーションではアカウントの切り換えなどが必要 自社製ビデオ会議システムを提供 / 連携可能	「自社ユーザ」とのコラボレーションがデフォルト 「他社ユーザ」とのコラボレーションではワークスペースの切り替えや共有チャンネルの作成などが必要
アプリのビルトイン機能	チャット、ファイル / 画面共有、ホワイトボード、ビデオ通話 / 会議	チャット、ファイル / 画面共有、ホワイトボード、ビデオ通話 / 会議	チャット、ファイル / 画面共有、ビデオ通話 / 会議
ビデオ会議	Webex Teams アプリでは 200 名まで参加可能 1,000 名まで参加可能な Webex Meetings とスムーズに連携	250 名まで参加可能	15 名まで参加可能 モバイルアプリでは画面共有 / 通話などビデオ機能は未サポート
ビデオ会議システム	近隣のビデオ会議システムを自動的に検索できるなど スムーズに連携	ビデオ会議システムと手動で連携可能	×
セキュリティポリシー	他社ユーザによって作成されたスペースに 自社ユーザが参加している場合でも ファイルのダウンロード / アップロードなど 自社のデータポリシーを適用可能	他社ユーザが作成したチームに 自社ユーザがゲストとして参加している場合は 自社のデータポリシーを適用不可能	他社ユーザが作成したワークスペースに 自社ユーザがゲストとして参加している場合は 自社のデータポリシーを適用不可能
完全なエンドツーエンド暗号化	●	×	×



Cisco Webex Calling vs UniTalk (Microsoft Teams)

	Webex Calling	UniTalk (Microsoft Teams)
特徴	クラウドベースの電話 (PBX) サービス Webex Meetings/Teams とスムーズに連携、Webex Calling 単体での契約も可能	クラウドベースの電話 (PBX) サービス Microsoft Teams 専用、Microsoft 365 (Office 365) の契約が必要
電話回線	不要	不要
NTT 番号ポータビリティ	●	●
国際通話	●	●
電話機	自社のクラウド電話サービスに最適化された、自社製 IP フォン	他社製 IP フォン
既存の電話回線や PBX を流用	オンプレミスベースでサポート	×



Cisco Webex Room シリーズ (セパレートモデル) vs Poly RealPresence Group シリーズ

	Webex Room	Poly RealPresence Group
特徴	ディスプレイと組み合わせて使用するビデオ会議システム Webex Meetings/Teams とスムーズに連携 NVIDIA Jetson 搭載、AI による最先端の機能をサポート: 「顔認識: 会議参加人数カウント」「自動レイアウト調整」「話者自動認識および自動ズーム」	ディスプレイと組み合わせて使用するビデオ会議システム
カメラ	4K または 5K カメラ内蔵 Room Kit Plus では可動式 (パン / チルト / ズーム) カメラを選択可能	可動式 HD カメラ
タッチコントローラ	同梱 (Webex Room USB を除く)	別途購入が必要
ワイヤレスプレゼンテーション	●	Group 310 のみ対応
ネットワークへの Wi-Fi 接続	●	×

